「杭抜き」を漫画で紹介

協会が『大地を継ぐもの』発刊

日本杭抜き協会（稲積真哉代表理事）は「杭抜き」をテーマにした『マンガ　大地を継ぐもの～次世代へつなぐ地盤の環境保全』＝**表紙**＝を発行する。原作者で協会専務理事の桑原秀一氏（マルシン代表取締役）が持つ杭と地盤に関する知見を、親しみやすい漫画形式で紹介している。協会ホームページ（https://japep.or.jp）で４月１日から第１巻の予約・購入が可能だ。

同協会は既存杭と地盤整備に関わる問題と、既存杭引き抜き工の重要性を訴えている。協会活動の一環で漫画制作に取り組んだ。原作をベースにした漫画の内容を芝浦工業大学教授の稲積代表理事が監修した。

漫画は建設会社に入社して研修を受けた男女を中心に話が進む。杭抜き工事の現場見学やさまざまな登場人物と出会う中で浮上する杭抜きを巡る課題と対応策を紹介する内容でストーリーが展開する。

第１巻はＡ５判カラー１０４㌻。構成は上間アキヒコ（上間企画制作室代表）、作画はスポマが担当した。発行日は5月1日。価格は１０００円。

本紙

２０２０年０３月１８日　００２面　０１版　Ｎｏ．０７